

昭和50年度漁況海況予報事業結果

I 調査の実施状況

(1) 実施機関 沖縄県水産試験場 漁業室

担当者 当真嗣誠 (総括)

友利昭之助 (海洋・調査)

久貝一成 (調査)

川崎和男 (調査)

喜屋武俊彦 (卵稚仔、調査)

金城武光 (調査)

吉川一男 (漁況、調査)

(2) 沖合定線調査(一定線)定線名 久米島北西沖合定線

ア 実施調査船

船名 図南丸 赤嶺正弘船長 乗組員 総員20名

調査船要目

総 屯 数 216.09T

馬 力 1,000PS

主 機 関 6MG-25BX 1,000PS×680RPM 新潟鉄工所

補 機 関 6KFL-T 185PS×1,200RPM

航海速力 11KT

測 深 機 TS-VSI型 馬力2.2KW ワイヤ長1,500m

魚群探知機 吉野電機製FNV-1,500F 周波数5.0KHz 20.0KHz

イ 観測定線

第1表、第11図のとうり

ウ 調査項目

a) 水温塩分の各層観測0、10、20、30、50、75、100、150、200、300m層

G.E.Kによる測流、BT観測、一般気象海象

b) 産卵調査 St 1～St 6の6点で実施

稚魚ネット(1.3m口径)の表層水平曳(約2ノットで5分間)

② ネット(45cm口径)150m→0mの鉛直曳

c) 魚群生態調査 魚群探知機による調査

d) その他 潮目 DSL等

エ 実施概要

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	備考
1	S 50.5.20 ~ 5.22	図南丸	12	友利、吉川	補助点11点
2	S 50.7.16 ~ 7.18	"	11	友利	"
3	S 50.9.17 ~ 9.19	"	12	喜屋武、川崎	"
4	S 51.1.20 ~ 1.22	"	12	友利、吉川	"
5	S 51.3.2 ~ 3.4	"	12	川崎	"

(3) 沿岸定線調査(2定線) 沖縄南部海域沿岸定線、金武湾沿岸定線

ア 実施調査船

船名 くろしお 船長名 比嘉幸一 乗組員 総員7名

調査船要目

吨数 2144吨
 馬力 100PS
 機関の種類 ヤンマーディーゼル6LD-FE 補機ヤンマーSL15、13.5PS
 航海速力 8ノット
 測深機 TS-00型 馬力0.75KW ワイヤー長500m
 魚群探知機 光電SR660 周波数28KHz 200KHz

イ 観測定線

第1表第11図のとうり

ウ 調査項目

a) 水温塩分の各層観測 0、10、20、30、50、75、100、150、200m層

B.T.観測 一般気象海象の観測

b) 産卵調査 沖縄南部海域沿岸定線 St. 1、3、5、7、9、10の6定点

金武湾沿岸定線 St. 2、3、5、7、8の5定点

稚魚ネット(1.3m口径)の表層曳(約2ノットで5分間)

特ネット(45cm口径)50m→0mの鉛直曳

c) 魚群生態調査 魚群探知機による調査

エ 実施概要

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	調査定線
1	S 50.4.23 ~ 4.24	くろしお	10	吉川、久目	南部
2	S 50.5.28 ~ 5.30	"	18	川崎、喜屋武	南部、金武湾
3	S 50.6.17 ~ 6.18	"	10	友利	南部
4	S 50.7.22 ~ 7.24	"	18	川崎、喜屋武	南部、金武湾
5	S 50.8.26 ~ 8.27	"	10	友利	南部
6	S 50.12.1 ~ 12.3	"	18	金城、吉川	南部、金武湾
7	S 51.1.21 ~ 1.23	"	18	金城、喜屋武	南部、金武湾
8	S 51.2.26 ~ 2.27	"	10	吉川	南部
9	S 51.3.16 ~ 3.17	"	10	川崎	南部